

OPENING
EVENTS
IN
KOBE

●ユニバーシアードめざし、ワールド記念ホール開く

神戸ポートアイランドに 未来都市を夢見る

〈コスモポリス〉



10月5日、ワールド記念ホールのオープニング。勇ましい『こだま太鼓』の響きが、開館の刻(とき)を告げた。

’85年夏に催される若者の祭典、ユニバーシアード神戸大会の競技場となるワールド記念ホール(神戸ポートアイランドホール)が完成、10月5日華麗にデビューした。この記念式典には、約四千人が出席、神戸太鼓保存会の「こだま太鼓」を皮切りに、クイン神戸、プリンセス神戸、ユニバージェンヌなど晴れやかに花のパレードを飾った。同ホールは床面積3100㎡天井高30m、最大収容人員10、000人の多目的ホールで、規模や機能とも国内第一級のものだけに、いよいよ未来都市の出現を予感させるインパクト・ホールとなりそうだ。

われわれの夢見る2001年とは、何だろ。21世紀にひらける神々しい夜明け……。その予感を感じながら、日本は、地球は、いつまでこの混乱をつづけるのか。その迷宮のトンネルをやりすごしたとき、一齋にひろがる解き放たれた世界。それをイメージするかのよう、10月7日、神戸ポートアイランド、ワールド記念ホールで、地球復活祭(コスモポリス)が催され、約2万人の観客がこの日、未来都市の幻想に酔った。

ファッションデザイナー、菊地武夫と、音楽家の坂本龍一、日本の2つの才能がこの宇宙的イベントの総合プロデューサーというだけに、凝りに凝ったパフォーマンスは終始われんばかりの拍手にホール内は湧いた。

構成第一部は、現代社会そのものの、コンピュータシステムによる機械文明がもたらした末期的世界……。スピーカー・タワーから突然、吐きで



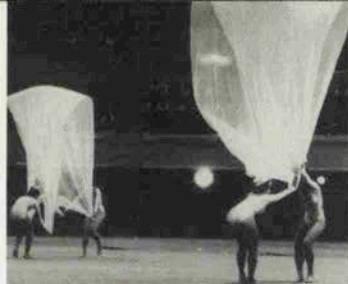
上／夜明け、誕生、そして再生、崇高な宇宙からの「生命」の光をあびて。下／バレエ団、ポップーズによる「生命」の踊りと歓喜。



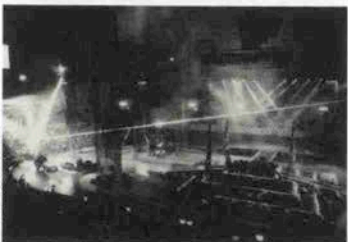
フィナーレには、坂本龍一、菊池武夫両氏が登場、喝采の渦となった。



破壊と戦争、そして、ゴスペルチームがコスモポリスの誕生を高らかに歌う……



上／宮崎市長が挨拶、美しい新体操も登場、下右／鳳 蘭さんの歌声と左はふるさとの踊り



る支配者のメッセージ。それは地の底から響き渡る悪魔的な声だ。ビデオと鳴り響くサイレンとモーターギヤングたちによる破壊と戦争。都市の残骸の中に人間たちの裸の存在が再生への渴望となつて轟き、やがて未来都市（コスモポリス）が出現する。ポップ・ダンサーズの華麗な踊りと、ジェフリー・ホワイト率いるゴスペルチームの祈りと歓喜の歌声の中、菊池武夫デザインによる華麗なファッションショーがくり広げられ、フィナーレとなった。

クラフト・ルポ

■杉の香ただよう大和路、お箸のルーツを探る

お箸のふるさと奈良 吉野・下市しもいちを訪ねて



日本人の食生活にきりはなせないお箸、その起源は古く、人類が火を用い始めた頃、鉄や竹製のピンセット型だったといわれる。さて、木の割り箸は、後醍醐天皇が大和に吉野朝を開いた時、里人が朝夕の供御(食事)に名産の吉野杉を削って献上したのが始まり。以後、千利久の茶道の発展に伴って、明治には一本ずつ対になった利休箸が全国の高級料亭で用いられるようになり、今日のように大衆食堂にまで割り箸が使われるようになったのは、戦後、マツやカバを用いた機械製品が普及した、この30数年のことである。

現在、割り箸の需要は年間150億膳(ぜん)を越えるといわれている。世界の人口、46億人のうち、ナイフとフォークを使う文化人口が約1/3、手づかみの食文化が1/3、残り1/3が箸文化人口と推定されているが、箸の文化、食生活の中に日本人の美意識がひめられているようだ。

吉野といえば、桜の名所として有名だが、吉野杉の香り高い里、下市村は「割り箸の町」として、古来、全国に名高かったが、今は、この手づくりの伝統産業を守りつづける名人も数少なくなってしまった。阪神高速大阪環状線から松原をぬけて、西名阪自動車道を東へ。大和郡山I・Cを出て、24号線を南へ、大和三山で知られる耳成山、天香久山を左に、敏傍山を右手に檀原市をぬけると、高松塚古墳で有名になった明日香の里、壺阪靈驗記の壺阪寺をすぎ、くすりの町、高取町をぬけて一路、下市町へ…。

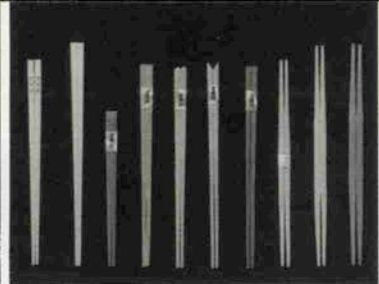
吉野川(紀ノ川)のせせらぎ美しい晩秋の川畔に吉野物産、箸問屋ヨシイがある。吉野生まれで2代目というヨシイの吉井敬二さんに、下市の案内をお願いした。

伝統工芸を守りつづける「名巧」に出会う

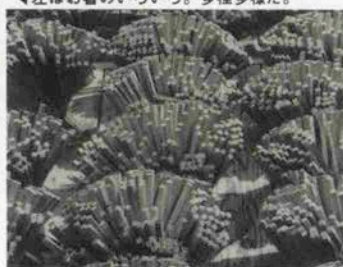
秋空冴えわたる緑の下、材木置場のあちらこちらに、まだ水気をおびて赤く小割りにした角棒が数10本ずつたばねられ、まるで、大輪の花がひらいたような様子でひろげられている。「あれは赤桎の杉箸を天日で干しているんです」と、



吉野杉箸の伝統工芸を守りつづける名巧、東 季利さん。丹精こめた箸づくりに力が入る。



▲吉井さんの手には角箸の小割りの一束。
◀左はお箸のいろいろ。多種多様だ。



▲赤柱の角箸(小割り)を天日で干す。
まるで大輪の花が咲いたようだ。



季利さんの四面取りのあと、奥さんが面取り作業を進める。

お正月の鏡もちを並べる三宝(さんぼう)も、吉野の名産。
これは吉野櫓で作る。



▲原材料から木皮(こわ)に。
下は機械による割り箸作り。



▲梃びき機で木皮を
カマボコ状にした
後、小割りにする。

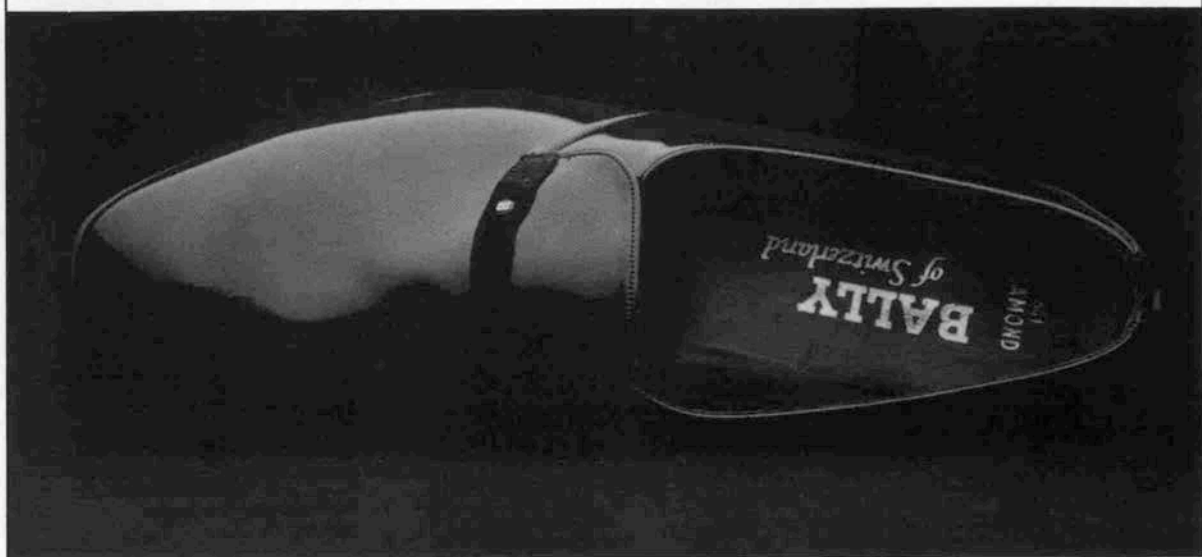
吉井さん。「これからご案内します」
「家屋の奥に入ると、老人夫婦がカンナくずの向うに
いた。数少なくなった箸職人の名人、東季利(ひが
しすえとし)(68歳)、キリエさん夫妻だ。ほどよく乾い
た小割の原材料を扇状に並べ、カンナで四面のツラをき
れいにそろえていく。カンナと木の擦れる音とともに、
紙のように薄いテープ状のカンナ削がこぼれ落ちる。
美しい杉の梃目が現われ、グリーンと杉の香が漂う。
「下市は昔から、箸づくりの町です。私たちはみんな
子ども時代から、家事の手伝いと同じように、親たち
に混じってお箸づくりを手伝ったものです。親たち
戦後、復員してから再び箸づくりに取りくんで50数
年。しかし、箸づくりの伝統をつごうという若者は少
ない。名人の技でこそ生まれた吉野杉箸、その味わい
の深さを見直してみよう。」

全国の名料亭へ直売。
いろいろなお箸のオーダー
承ります。

企画・制作
有限会社 神戸 **はしまん**
神戸市兵庫区松本通3丁目1-39
TEL 078-521-7781
FAX 078-531-5884



逸品集(4,000円)



'84秋・冬新作バリー・舶来雑貨が
トア・ロード《クロス》に到着。
ぜひお立寄り下さい。

靴と舶来雑貨

世界の一流品をあつめた

クロス

神戸トア・ロード ☎078(391)1781 三宮生田筋店 ☎078(331)5983
神戸ポートピアホテル・パレビアンカ2F ☎078(302)1558

優しさを奏でる、香りの贈りもの。



'84 WINTER GIFT

お届けします
神戸の銘品



上島珈琲本社



ブルーマウンテン&
グランドモナークコーヒーセット ¥5,000



レギュラーコーヒーセット
¥3,000



インスタントコーヒーセット
¥4,000



スティックコーヒーセット
¥3,000



炭焼コーヒーセット
¥3,000

ご贈答品に手造り手描き「清水焼」



青抹茶酒器揃 ￥3500

やきものにこめられた手づくりの温もり。それは贈る方のまごころを大切な先様へ伝えます。
一流作家の作品をはじめ、豊富な品揃えの中から心通う一品をお選び下さい。

清水焼

雲楽陶苑

神戸ポートピアホテル店

〒650 神戸市中央区港島中町6-10-1 神戸ポートピアホテル

ショッピングアーケード〈パレビアンカ1階〉

☎078-302-1557 / 078-302-1111 (内線3514)

☆パンフレットをご希望の方は、
左記までご連絡下さいませ。
早急にお送り申し上げます。

友ありて
酒ありて
贈る
金盃 KINPAI



金盃セット
K2
¥5,000



純金箔入一級 純米酒二級
1.8ℓ詰1本 1.8ℓ詰1本
美濃焼小鉢セット
5客組

灘の清酒

金盃

金盃酒造株式会社

本社／神戸市灘区大石東町6丁目3番1号
TEL 神戸 078-871-5251 (代表)
東京支店／東京都中央区新川1丁目14番5号
TEL 東京 03-553-2601 (代表)

丹精こめた伝統の技術、熟成された風味…

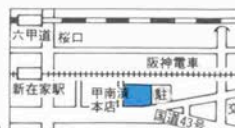


灘の名産、甲南漬をご進物、ご家庭用にご利用ください



- 樽に生きつゝ伝統の風格と風味
「化粧樽詰合せ」
- 上品な風味、親しみ深い詰合せ
「化粧函詰合せ・松茸入甲南漬」
- 味、形ともに趣き豊かな極上品
「干成甲南漬」(小粒なすの奈良漬)

その他、「珍味・海の幸」など味とともに永年の
伝統を誇る高級奈良漬の風味をご賞味ください。



本店には「甲南漬資料館」を併
設しています (入場料無料)

創業明治3年

甲南漬・味醂白菱本舗

高嶋酒類食品株式会社

本 社 神戸市東灘区御影塚町3丁目9番 電話 代表 (078) 841-0551番
本 店 神戸市東灘区御影塚町4丁目4番8号 電話 代表 (078) 841-1821番

秋の第一楽章。

奏でるように、季節は深まります。
秋の新しいデザインを多彩にとりそろえました。

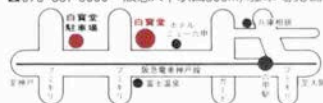


ハーモニーです、アクセサリ。

■ダイヤモンド ■天然宝石 ■貴金属
米国宝石学協会 鑑定鑑別士(G.I.A.G.G.)大野治代

株式会社 白寶堂

〒657 神戸市灘区篠原中町1丁目2番4号
☎078-881-6000 阪急六甲駅西300m/駐車場完備



Coffee Break



★十四年ぶりの個展で

精神的にも大きな収穫

一水会会員の土尾忠生氏が9月13日から一週間、地元の大丸神戸店美術画廊で久々14年ぶりに個展を催した。水彩の風景画13点とタブロー4点の構成でいずれもここ2、3年の間に習練のために描いたもの。



土尾 忠生
久々14年ぶりに個展を催した。水彩の風景画

「自分の仕事を第三者に観てもらおうと自分では気付かない点を指摘され、勉強になりますね。これからは機会があれば発表の場を持ちたい」と氏が語るように評論家の増田洋氏は忠実に描写した作品と印象を象徴化した作品は意識して分けられたものであるにもかかわらず、無意識のうちに融合化しており、今回の作品展は大切な節目だと批評している。地元神戸での活動が期待される。

★ユニバーシアード接近中
中央体育館もリフレッシュ
ユニバーシアード神戸大会のバスケット会場となる



博志 行天
神戸市立中央体育館に今年4月、行天博志新

館長が就任した。

「スポーツは、『観る』から『体験する』ものへ確実に変わりつつあります。そこで、当市立中央体育館でも、市民の方々にスポーツを楽しんでいただけるよう施設の充実を図っていきたいと思います。また、ユニバーシアード大会では、選手と観客が一体となってゲームを盛り上げてほしい」と力強く語った。

この体育館のある大倉山は文化ホールあり、図書館ありといった、神戸文化の核となるところだけに、一人でも多くの人に利用していただきたいものだ。

★これからの時代は

個人よりグループです

「個人の力でこなせる仕事量はたかだかしれていきます。もっと大きな仕事をやりたいので仲間を増やし、



明正 藤谷
会社という形態にしたんです」と会社設立の

いきさつを静かに語ってくれた代表取締役の藤谷明正氏。彼は15年間一人でデザイン事務所を営んでいたが、このほど、新会社ファスコを設立した。主な業務内容は、空間および立休をベースにしたトータルなデザインワークで、ディスプレイやオリジナル版画の製作、さらに都市環境整備の提案など幅広い分野にわたっている。

株式会社ファスコ／中央区磯辺通4丁目2-20神戸ビル505号
電話 25119436 / FAX 25119574



大改裝し、9月21日、リフレッシュオープン

した。

ブリコのリフレッシュは「旧館東隣りに新設した新館では、カー用品を中心に商品を充実させ、中でも、カーオーディオ、タイヤ、ホイールなどを新たに取扱いします。旧館の方もさらに商品を増やし、魅力あるものになっています」

100台駐車可能なパークインもあり、カーマニアにとってはうれしいお店であるドライブの途中に、帰りに彼女も誘って、立ち寄ってみてはいかがかな。



吉川 二郎

★ギターの弦の響きもリサイクルラッシュに冴えるスペインの伝統的なメロデー——甘く切なく、ときには情熱的に奏でるコンサートフラメンコギターひとすじに幅広い活動が続けている吉川二郎さん。

フラメンコギターの機関紙「ふあるせえた」も昨年1月の創刊以来、10月で22号を迎え、会員数も着々と伸びて嬉しい声。

「来春に恩師マヌエル・カーノとの師弟デュオが決まり、12月22日にスペインへ出発しますが、その前に2日の西宮北口公会堂教会チャペルホール、10日には東京高田馬場「真空間ホール」でリサイタルがあり、何だか急に忙しくなってきました。来春にむけて頑張りますよ」と意欲満々だ。

□問い合わせ／宝塚市花屋敷荘園1の3の7 電話 0727 (93) 8684

動物園飼育日記

—〈228〉—

亀井一成

〈王子動物園学芸員〉
写真撮影も筆者

キンカジュウ雲隠れ事件





人気上昇中のレッサーパンダ。右頁は筆者に抱かれてゴキゲンのキンカジュウ・プリン

さる日、オオコウモリ、スローロリス、アルマジロ、キンカジュウ、モモンガ、ヨザル、ガラゴと、夜に活動する動物達を飼育している夜行性動物舎で、キンカジュウのオス、通称プリンがオリから逃げだし、行方不明になった。

すぐ隣りではワニや我々大人の太も位もあるアミメニシキヘビ（長さ四米）やインドニシキヘビなどを飼育しているのである。騒ぎというものは同僚の公休日という忙しい時に限ってほんとに起こるものだから「気を抜いたらあかん」のだ。

「三角関係で別居中のキンカジュウ逃げる」

「プリン」ことキンカジュウのオス。（アライグマの仲間。中南米産）実は、ライバルのオス、「ゴン太」に、メス二頭共独りじめされ、見るも無残な程、咬みつかれひと時入院治療を受けたが、もはやゴン太やメス達と同

居すること不可能となった。そこで、プリン一頭だけを小さな箱オリの中で飼っている。いや、その小さな箱オリの中のプリンがいなくなったのである。

できれば、一族の中に戻してやりたいので夜行性動物を世話する台所の隅にプリンの箱オリが置いてある。

弱い子には余計においしい物を食べさせ、やさしくしてやるものだから、そのプリンは、抱けるまでに馴れ、畜産科の実習生たちも抱いてはよく記念撮影を楽しんでいた。

「オーイ、プリン。どこへ行ったんや」

いくら呼んでも応答がない。どうせ夜が明けたら、バナナなど熱帯植物の茂る根っ子に丸くなって眠っているに違いない。「プリン、餌おいとくら帰るぞ」動物舎の出入口シャッターを閉めれば、もう屋外に出ることは絶対にならないので、自ら戻ってくれることを期待してその日は帰宅することにした。

第二日目、やはりプリンは呼べども答えず、全く姿を見せなくなってしまった。第三日目、それにしても飲まず食わずでは生きられないのに、姿を見せない。どこかに足跡やフンが落ちてないだろうか、私は今日も探し回った。何せ太陽熱利用の動物舎だから地下も天井も複雑なパイプラインでぎっしり、我々人間さまは入りこめない。

「こらあかん。プリンから出てきてもらうしかない」と、好物のブドウやバナナ、ソーセージをどっさり餌箱においても全く手をつけていないのだ。その上、少々気になることがあった。

「あのアミメニシキヘビの腹がえらい大きい」

「まさか、あのニシキヘビが……」

折りしも最も食欲旺盛な九月初旬のこと、動く物に対しては、掃除にも入れない程、とびついてくる彼等の季節だ。もし、そうであれば、何と上司に報告すればいいだろうか。

今だから明かそう。「ほんとに心配しました」

だが、仔細に見て回るうち、カメのいる附近の柱や鉄の扉に小さな足跡を私は見つけた。

「やはりどこかにいる」

続いて探すうち、「あった、あった。ありました！」電話機のある机の端っ子に小さなウンコがコロリと落ちていたのだ。

「やさしく誘ってだめなら威してやれ！」

そのウンコを見れば、プリンは、私の置いたものには口をつけずに、あちこちで拾い喰いしていることがわかったから、私も負けてはおれない。

よし、それならプリンの怖がることを仕掛けてやれ！と、思いついたのが、見かけないものを、プリンが潜ん



逃げ出したレッサーパンダは、覆ました顔で木に登っていた



でいるはずの台所においてやることや！

ちょうど運よく大声で鳴くヤギを飼育中の私は、その子ヤギの「夏ちゃん」を朝早くプリンがいそうな所へ連れていったらどうだろう。

「キュツ、キュツ、キュツ、キュツ！」と声を出しながら、暗闇の天井からスルスルと降りてきて私の足元にしがみついていたのである。

「プリン、よかった、よかった。よう出てきてくれた」

私は誰もいないニシキヘビ舎の前でひとしおプリンが無事だったことに胸をなで降ろしていた。

「エッ、あのレッサーパンダが逃げた」

お粗末なことばかりが続いてお叱りをうけるかもしれないが、今こうして記すことは事故がほんの僅かなことが原因となつていることを改めて、思い浮かべ今後の事故防止に役立たせたいからである。

レッサーパンダもまた、担当者のいない時の正午頃のことであった。

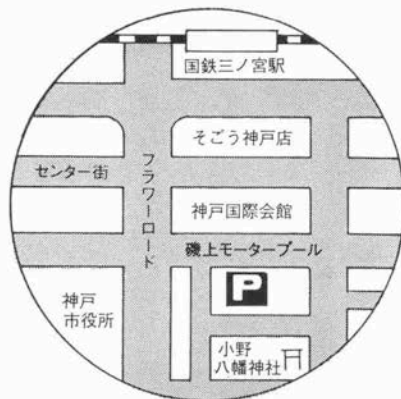
「パンダが逃げて木に登っている」という知らせを入口事務所から受けたのだ。

「あっ、はい。そうですか！」と返事をしていいるその班の飼育員、受話機をおいてから、「何時もあの柳の木に登って遊んでいるのが……」と、確認に走った。三分後「やっぱり外の木に登っているようだ！」と連絡してきた行つて見ればレッサーパンダの周辺は人だかりでいっぱい。実は運動場に植えてある竹や柳の木が大きくなってパンダ舎の屋根にまで枝がのびていたのだ。そこを、ひよいと飛び降り、屋根伝いに外に出て、次に桜の大木によじ登って楽しんでいたのである。

放っておけば自ら降りてきたはずだが、大騒ぎになつたお客さまの人だかりにとうとう夕方まで降りてはくれなかった。もちろん無事に戻ったが。

キンカジューは、上下のカギの内、上はかかっていても下がミスされていたことからプリンは全身で押し、こじあけて逃げだしていた。また、パンダはのびた柳の木の枝の剪定の遅れが原因だったのである。

ビジネスに!
ショッピングに!
ご利用ください



磯上モータープール

(神戸国際会館前) TEL (078) 251-7873 (8:00AM~11:00PM)

- 収容台数 350台
- 月極駐車可
- 年中無休

THE ARIMA SPA
IN NOV.

湯の町

有馬歳時記

★昔、茶会 今、コンベンション

豊臣秀吉が大坂城にあって天下に号令をかけていた頃、秀吉をはじめ重臣が打ち揃って有馬温泉に逗留し、あたかも有馬温泉が国政の中心となった観を呈した時期があった。

秀吉がことのほか有馬温泉を愛したことは、現在入手できる幾多の資料によっても明らかである。たとえば、文禄三年（一五九四年）の『言経卿記』の記述。「四月二十九日、太閤秀吉、有馬ニ湯治セントシ、先ヅ側室京極氏ヲ入湯セシメ、是日、秀吉湯山ニ入ル、前田利家・蒲生氏郷等扈從ス」

さらに『家忠日記』にも、「四月廿九日、秀吉有馬ノ温泉ニ入湯ス、（中略）五月十二日、太閤秀吉、有馬ヨリ大坂ニ帰ル」とあり、『太閤記』秀吉公有馬御湯治之事には、「卯月廿九日御湯治に付て、れき／＼の御伽衆十九人被召列、御慰のか

ず／＼云はんかたもなし、御逗留中、方々より捧物其数をしらず、有馬中へ鳥目二百貫、湯女共に五十貫被下、谷中のにぎはひいと目出見えて、五月十二日御上りなされけり」と、この二十七日間にわたる逗留が重臣を引きつれてのものであったことが伺える。

この年の十二月八日にも秀吉は有馬温泉を訪れている。

「十二月八日、太閤秀吉、有馬ニ湯治シ、是日、地下人ノ進物ヲ自肅セシム、ツイデ、新殿造宮ノタメ壞チタル在家六十五軒ノ、地子・年貢ヲ免ズ」

「ゆの山ニ御てんたち申候、御屋しきニなり申候いゑ六拾五間もの共ニ、御年貢米百石くたされ候割張、文禄三年十二



400年前、有馬にコンベンションを誘致した太閤秀吉

月十日」（『余田文書』）

「ゆの山ニ御てんたち申候、御屋しきになり申候いゑ六拾五間こわし申候、御地子のしろかね御免分、文禄三年十二月十日」（『余田文書』）

秀吉の有馬温泉入湯は、このように、あたかも居城が有馬におかれたかの趣きがあり、「疑似遷都」と言えそうだ。

神戸市は現在、コンベンション都市（会議見本市都市）づくりを目指して胎動しているが、すでに四百年前、秀吉は有馬でコンベンションを開催していたと

静寂さにつまれた
くつろぎの宿

国際観光旅館

陵楓閣

TEL (078) 904-0675
TELEX 5627-115

テニスでいい汗
いい湯にとっぷり
味に集う



TEL (078) 903-1024
木造りの宿 御所坊
TEL (078) 904-0551

自然の恵みを
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

古泉閣

TEL (078) 904-0731

有馬の歴史を語り続ける「いで湯の宿」

銀水荘

別館 楽山

TEL (078) 904-0622

別館 光楽

TEL (078) 904-3656

＜有馬温泉大学からのお知らせ＞

当有馬温泉大学も創立以来すでに5年の歳月を経、本年11月25日（日）5回目の開講となりました。

思いおこせば、温泉の魅力をとりわけ若い方々に知っていただくとの主旨で始めました当大学も、これまで芸道篇（男性対象）シェイプアップ篇（女性対象）などいろいろと趣向を凝らしてまいりました。有馬温泉のもつ魅力のすべてをカリキュラムに取り入れ、ぜひ分と好評をいただきました。

さて、本年は、受講生の皆さま方と一緒に私どもも勉強をしようと真面目に（？）考えています。女子大生の間で温泉への関心が高まっているとの新聞記事を目にしたこともあり、どうすれば若い層をさらに有馬温泉へ引きつけられるかをいろいろと学びたいと思っております。

受講生の募集中については、有馬温泉観光協会青年部までご連絡を下さい。

有馬温泉大学学長 風早 和喜
 <ご連絡は 904-0501 兵衛向陽閣まで>

いえよう。秀吉はまた、有馬温泉で茶会を催したことも知られている。
 『宗及茶湯日記』によると、天正十三年（一五八五年）の一月十七日、秀吉は有馬へ湯治に行き、石川伯耆、宗易、宗及らとともに茶会を開いている。天正十八年（一五八九年）十月四日には、千利休、小早川隆景、有馬法印らを招いて善福寺で開いた。
 「太閤を偲ぶ有馬大茶会」が始ったのは昭和二十九年のこと。毎年、紅葉の美しい十一月二・三两日に開かれている。本来コンベンション都市とは内外から大小幾多のコンベンションを誘致し、会議や見本市を開催することによって、都市の活性化を促し、利潤を追求するものであるが、現在の有馬温泉は、有数のコンベンション基地だと言えよう。

「有馬大茶会」は、両日で延べ二千人の茶道愛好家で賑わう。無論、これ自体が一つのコンベンションである。
 有馬温泉には規模の大小はあるが、約三十軒の旅館・ホテルがある。それぞれに客室の他、各種の宴会施設をもっている。
 これらをうまく連携させることが出来れば、都市近郊でありながら自然の豊かさを伴せもつ、またとないコンベンション基地として稼働できると思われる。
 今年の十一月二・三两日、有馬温泉では大茶会が開かれる。それは美しい自然の中の華やいだ点景であるが、かつて太閤秀吉が有馬の地に賑わいをもたらしただように、二十一世紀を目指すコンベンション都市神戸の一翼を担う有馬は、今、新たな脚光を浴びているのだ。

欽山は典雅な
 日本風の館です

国際観光旅館



欽山

TEL (078) 904-0701代

敷地内から湧きでる
 日本最古の温泉“有馬温泉”

阪急ホテルチェーン

有馬ビューホテル

TEL (078) 904-2295代

温泉と演芸と遊技場

有馬ヘルスセンター

TEL (078) 904-2291

雅ただようくつろぎの館

中の坊瑞苑

TEL (078) 904-0781

会議セミナーから御家族づれまで
 有馬グランドホテル

TEL (078) 904-0181

結婚式場を完備しています



伝統と格式を誇る

兵衛

向陽閣

景勝高台の近代旅館

TEL (078) 904-0501代

里親家庭における親と子の追跡調査報告

「成人里子の生活と意識」

橋本 明（社団法人「家庭養護促進協会」事務局長）

よんでいるため、彼らの足跡をたどり、訪ねて回るのは大変なことであった。

五月に調査が終わわり、コンピュータで集計結果を分析し、調査検討委員会での内容の検討、報告書の草稿、そして「成人里子の生活と意識——里親家庭における親と子の追跡調査報告」が刷りあがったのが10月。ちょうど里親月間であった。

さて、調査結果の詳細は報告書にゆずるとして、いくつかの主な柱をのべておきたい。

まず、子どもたちが里子時代に過ごした里親の家庭は経済的にも安定し、夫婦仲もよく、家族の連帯感・一体

感ももてるような家庭であり、里子たちはそのような家庭のなかで明かるく、のびのびと育てられた姿が浮かんできた。成人した里子たちの現在の社会人としての生活も、収入や友人関係にも恵まれ、安定した暮らしを送っている。

調査対象者は、協会の神戸事務所を通して兵庫県下の里親家庭に引きとられ、里親と三年以上暮らした経験のある18歳以上のかつての里子（成人里子）たちとその里親である。

二十年間の資料の中から対象者の抽出をし、基礎データの整理、アンケートの作製、依頼状の発送、調査員の研修などの準備を経て、調査に入ったのは今年の一月からであった。調査は面接方式とし、対象者を一人一人訪ねて回り、調査員がアンケートに回答を記入することにした。対象者や回答者の内訳は別表の通りであるが、成人したかつての里子たちの居住地は兵庫県下の各地域のみならず、北海道、九州、四国、中部、関東地方にもお

＜調査対象者および回収数＞

	対象者数	回収数	回収率(%)
里子	123	67	54.5
里父	107	64	59.8
里母	121	94	77.7
計	351	225	64.1

感ももてるような家庭であり、里子たちはそのような家庭のなかで明かるく、のびのびと育てられた姿が浮かんできた。成人した里子たちの現在の社会人としての生活も、収入や友人関係にも恵まれ、安定した暮らしを送っている。

その背景には里子たちを懸命に育て、今日まで支えつづけてきた里親たちのたゆまぬ努力と愛情がアンケートの結果から伝わってくる。ここにみられる里親子の姿は一般家庭の親子と何ら変わるところがなく、成人里子の姿も一般の青年と変わってはいない。血のつながらない里親と里子という関係は一般の目からみれば特別な親子であり、特殊な家庭というように受けとめられるかもしれないが、この調査からはそんな親子、家庭像は浮かんでこない。ごく普通の親子として生活を営んでいくことが里親制度の目的でもあるのだからこれは当然のことである。

もう一つ、この調査では施設出身者との比較を少し試みてみたが、資料が少なく、限られた資料のなかでの比



報告書作製のための打合せ。芝野松次郎氏（左から3人目）と協会職員

較なので十分な考察はできなかった。

いくつか気がついたことをまとめてみると、成人里子の方が施設出身者よりも学歴は高く、安定した大きな規模の職場で働いており、収入も多く、比較的仕事にも満足感をもっているようであった。ここにも両者の間に、育った環境の違いが大きく影響しているように感じられる。

また、同じように血縁のない「育ての親」に育てられても、その親の戸籍に入籍して養子として育てられた子どもと、入籍せずに里子として育てられた子どもを比べてみると、養子の方が里子よりも、家族の一員としての一体感、所属感により強いようである。

この成人里子の調査は、日本ではほとんど他に例がなく、海外でも数少ない調査であるだけに、今後さらにまた別の視点からも分析、検討を重ねていきたいと考えている。

この貴重な調査を実施するために「社会福祉法人・丸紅基金」から助成を受け、報告書の出版には「財団法人こうべ市民福祉振興協会」から助成をいただくことができた。また準備から報告書の完成まで、関西学院大学社会学部専任講師の芝野松次郎氏からご指導、ご助言をいただいた。そして多くの里親やかつての里子であった人たちの惜しみない協力のおかげでこの調査を実施することができた。

あわせて心からお礼を申し上げます。

★おしらせ

今年度の神戸市芸術祭の協賛行事として

『ドキュメンタリー親子むすびの上映と懇談会』

左記のように開きます。

日時 十一月二十九日（木） 午後二時～五時

場所 シアターポシエット

参加費 五〇〇円

参加ご希望の方は左記へお申し込み下さい。

社団法人 家庭養護促進協会

電話（〇七八）三四一―五〇四六

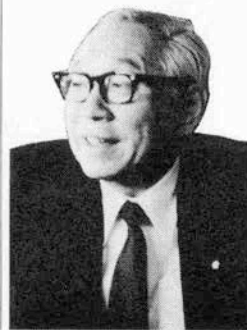
ビッグインタビュ―

大阪大学総長

山村雄一

海外作家
インタビュ―

ザオ・ウーキー



今昔絵双紙〈7〉

田辺聖子

特別寄稿

岡部伊都子

小説 太陽の発見者〈5〉

阿部牧郎

日本の宝との出会い ●唐招提寺金堂

空から見た造形美「彦根城」

美女登場「宮本東代子」

カラゝ可愛い子犬たち

スカーハイライト「美里英一」

特別企画 神戸トータルファッションフェア

大阪の曲り角 木津川 計

評伝・川端康成③ 石濱恒夫

上方味覚紀行 楠本憲吉

創造の世界 ●立石電機中央研究所



新しい関西を創造する総合雑誌

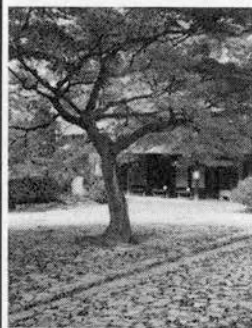
オール関西

好評発売中 ¥580 (年間購読 ¥8,000) 11月号

関西ニューメディア・エージ・タウンジャーナル／西日本ホットライン／カルチャーカレンダー／今月の健康／名医に聞く／パーティ&シンポジウム／マンガ・小島功の好色一代男／BOOKレビュー／オラクル／エロチカ辞評／ヤングのページ／続・沙羅利満氏の経済教室——建元正弘

カラー特集 錦繡の京

写真家／山本健三



★神戸の集いから

★作陶四十年の

記念出版を祝う

丹波立杭焼の陶芸家・市野弘之さんが、このたび『作陶四十年市野弘之作品集』を出版したが、9月14日夜、兵庫県民会館ホールで祝う会が開かれた。

発起人代表として小林武雄さん（半どんの会代表）は「陶芸の新しい流れを見ながら深く沈潜して、自分の詩をうたいつつ焼きつつけておられる。これからもよりよい作品を」と挨拶。

宗野兵庫庫出納長と安好神戸市収入役、金井県立近代美術館長、画家の貝原六一人さんからお祝いの言葉があった。



中央が市野さん

市野さんは「仕事の道・人の道を教えられて来た四十年です。これから明日に向かって一作一作に魂を込めてつくりつづけていきたい」と二五〇名の出席者を前に若々しく語り、万雷の拍手を浴びた。

★須磨寺三重塔再建奉賛

小池義人管長墨跡展開く
秋めく十月六、七日の両日、須磨寺が弘法大師一五〇年御遠忌と、須磨寺開創一〇〇〇年の記念行事として三重塔が四百年ぶりに再建落慶した。

この上野山に美しい朱の三重塔を完成のため小池義人管長は、建立費の勧進のため東奔西走。この一助に



小池夫妻を囲んで

と管長の墨跡展が、センター街のギャラリー「ビブレ」で、9月12・17日に開かれオープニングは「小池義人管長を励ます会」となり、小池夫妻を囲んで、吉田泰巳、山本芳樹、三浦真蔵、山越芳和、大西孝男さんら約100名が集まった。

再建費用の目標達成のためのご協力を。

(須磨寺 0416)

★梶さんの積年の労作を祝う集い

神戸市青少年文化研究所所長の梶真澄さんが、このほど『現代青少年問題入門』を出版（弘文堂刊・1600円）。10月1日夜、サンパル7階にて出版を祝う会が開かれた。

神戸新聞の記者時代から



出版を祝って乾杯

一貫して青少年の問題を追ってきた梶さんのこれまで

の仕事の集大成の著であるが、日頃の交友関係の幅の広さを反映して、行政、文化関係を中心に多士済々な人々が集まった。

10年来の付き合いという新野幸次郎神大教授をはじめ、三木真一県副知事、宮岡寿雄市助役、三木良一神戸新聞社長、土井芳子神戸市婦人団体協議会会長がお祝いの言葉をのべ、板東慧労働調査研究所所長が乾杯の音頭をとった。一番の心配は本が売れるやらか、ということですが「という梶さん。一人でも多くの人に読まれてほしい著作である。」

★北野町のミラノの風

バルバス、3周年に集う
イタリアメンズモードの最先端をきる麟バルバス・インターナショナル神戸店が3周年を迎え、9月8日、その記念パーティが行なわれた。

会場となったリンズギヤラリー「ラ・ボン・ヴェール」内は、お祝いに駆けつけた関係者約100人で満席となったものの、気楽な雰囲気かセンスのよさを感じさせた。この日は、東京本社より川合沖寛社長、本場ミラノから、デザイナーのイタロ・アラルディ氏も出席し、石見擁一神戸店長と



左より青木悠専務、イタロ・アラルディ・石見店長

もに、「私はミラノで、石見さんは神戸で、お互いに頑張りましょう」と固く握手、盛大な拍手がわき起こった。

■中央北野町2-7-18
リンズギヤラリー内 電話 222-3786

元町まちづくりを考える
元町キャンペーン座談会
(12)

さあこれからだ！ 元町まちづくり

「元町で文化の香りある町づくりを積極的に進めておられる」「元町の文化と伝統を守る会」が結成されて、早や9カ月になります。今日は、同会の事務局長の島田さんをはじめ、幹事のみなさんにお集りいただき、これまでの活動の推移を振り返っていただくとともに、元町の今後の展望について話し合っていたきたいと思います。

★元町の新しいシンボルとなる モニュメントを

島田 すでにみなさんもご存知でしょうが、阪神電車元町駅西口に建設が予定されている日本中央競馬会の場外馬券売場反対運動が市

民レベルの運動へ広がり、元町の伝統と文化をもう一度見直そうというところで「元町の文化と伝統を守る会」が発足したわけですね。横山 そうそう。神戸の中で、元町ほど老舗の並んでいる商店街は他にはない。なんといっても、100余年の伝統がある。これを大切にしないといけない。文字通りに元町の文化と伝統を守らないといけないという危機感がありましたね。高橋 元町の文化と伝統を守るということはつまり、元町全体の活性化ということ、そのためにはまず人を集めることです。そのためのイベントとして、四月二十九日から五月七日まで、元町ルネサンス元年として「元町愛のフェス



山根 良一
＜弁護士＞



竹山 清明
＜生活空間研究所長＞



島田 誠
＜海文堂オーナー＞



横山 憲一
＜中学教師＞



高橋 憲二
＜タカハシ靴店オーナー＞



渡辺 政雄
＜SPプロデューサー＞

ティバル」をやりました。山根 あのイベントは、大成功でした。しかし、そろそろ次のイベントを企画しないといけない。車発で終わってしまったのではないにもなりません。

渡辺 「元町愛のフェスティバル」のオープニング行事として「カリヨンの鐘」の完成式が行われましたが、「カリヨンの鐘」も元町のシンボルとして、市民や観光客の間に認識され始めていますね。

横山 もう一つぐらい元町の象徴となるモニュメントがほしい。

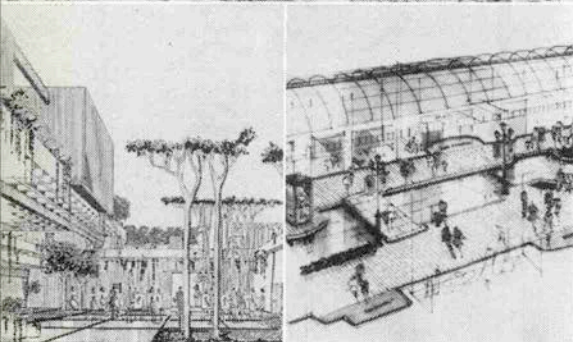
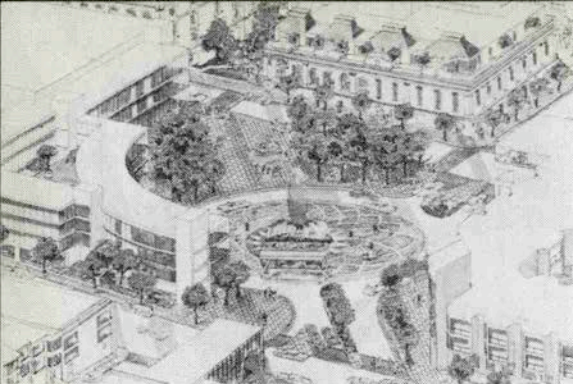
高橋 南京街の西入口にも楼門をつくればぜったいに名所になるんですけどね。

竹山 「元町の文化と伝統を守る

会」主催で元町のまちづくりアイデアコンペを行い新鮮なアイデアを提案した入選作が八点決っているのですが、今ここで元町アイデアコンペ入選作をもう一度検討し直してみる必要がありますよ。あのなかには元町に文化の核となる劇場をつくる、果庁から港へ人の流れをつくるなどいろんなユニークなアイデアが提案されています。

★市民もぜひ参加してほしい 元町まちづくり

山根 ただ「元町の文化と伝統を守る会」がいくらアイデアを提案してもそれを受ける商店街の組織がしっかりしてないと何にも実現しません。そこで、八月七日に「元町まちづくり委員会」がスタートしたんです。



元町アイデアコンペ入選作より（写真／上）元町周辺の歴史的建造物の保護、メモリアルゾーンの提案（同／下右）新しい「通り」づくりの提案（同／下左）元町に大小のイベント施設を

島田 会員28名で2回合合をもって、まちづくりの諸問題を討議したり、外から講師を招いての勉強会を開いたりします。現在、「元町まちづくり委員会」は3つのセクションに分かれて活動しています。まず、元町の実態調査をするグループは、元町にどういう店があって、人はどう流れているかなどを調べます。第二のグループは、元町への交通について考えます。元町へ来る人の阪神電車、国鉄、バス、マイカーの利用状況をアンケート調査したり、新交通の提案もします。最後のグループは、北野町、南京街、メリケンパークをつなぐルート開発を実行し「面」として発展させることを考えます。竹山 それとね。「元町まちづくり委員会」は元町内部への呼びかけ

だけでなく、外へのアピール。神戸市民全体へのPRもやっていきます。元町は新しいまちづくりと真剣に取り組んでいます。だから市民の皆さんにも力を貸してほしいとよびかけていくんですよ。

島田 その運動の第一段階として十一月四日に風月堂ホールで市民大会を予定しています。内容はまだ検討中ですが、まちづくり委員会の活動を市民の方に理解していただくため、都市計画家をまじえてのシンポジウムを予定しています。その他にも、当日、元町へ来ていただいた人にも楽しんでいただけるようなイベントも考えています。

渡辺 でもやっぱり「元町まちづくり委員会」だけが町づくりに取り組んでもダメで、商店街のみんなが力をあわせてまちづくりに取り組まんとなんにもできません。高橋 そのとおりです。元町全体のバックアップがあってこそ、まちづくり委員会が機能するんです。

竹山 「元町まちづくり委員会」が結成されたのを機会に、元町の方々はもちろんですが、市民の方にも「元町」をもう一度見直していただき、我らの元町、神戸の元町と誇れる活気と魅力のある町に市民の方々と協力して変えていきたいと思っています。